

令和8年度 第2回世界遺産セミナー



紀伊山地の霊場と参詣道

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」と日本遺産「葛城修験」

日時：令和8年12月19日(土)

13:00受付、13:30～15:30

演題：「世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』と
日本遺産『葛城修験』」

講師：那智山青岸渡寺 熊野修験 先達 花井淳英 氏

場所：旧和歌山県議会議事堂（岩出市「ねごろ歴史の丘」内）

〒649-6202 和歌山県岩出市根来2347-22

定員：100名程度（参加費不要。要事前申込。）

- ◆記載内容は都合により、変更する場合があります。予めご了承下さい。
- ◆参加申し込み方法は、裏面の参加申込書をご覧ください。
- ◆その他、詳細は下記「和歌山県世界遺産センター」までお問い合わせ下さい。

【セミナー要旨】

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」には修験道の関係資産として、登録資産エリア「吉野・大峯」内の社寺仏閣が、参詣道として「大峯奥駈道」が登録されている。また、残りの登録エリアである「熊野三山」、「高野山」を含めた「紀伊山地の霊場」とそれらを繋ぐ「参詣道」の文化的価値が高く評価されている。

また、和歌山に隣接する府県間にある和泉山脈、金剛山地は古来「葛城」と呼ばれ、多くの神々が住まう山として人々に崇められていた。そして、「葛城」の山々は修験道の開祖である役行者が最初に修行を積んだ場所とされている。日本遺産「葛城修験」は、これらの地に点在する経塚と滝や巨石、寺社や祠などを巡って行う修行や行場を総称したものである。役行者が「葛城修験」を開いた後に移った修行の地が、世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』の一部である登録資産エリア「吉野・大峯」や参詣道「大峯奥駈道」となっている。

今回のセミナーで、修験道と世界遺産の関係性などについて、学習を深めることにより、その価値を確認し、これからの活用・保存を進める契機とする。

皆様のご参加をお待ちしています。

【問い合わせ】

名称：和歌山県世界遺産センター
電話：0735-42-1044
FAX：0735-42-1560
E-mail：e1004011@pref.wakayama.lg.jp



紀伊山地の霊場と参詣道

和歌山県世界遺産センター